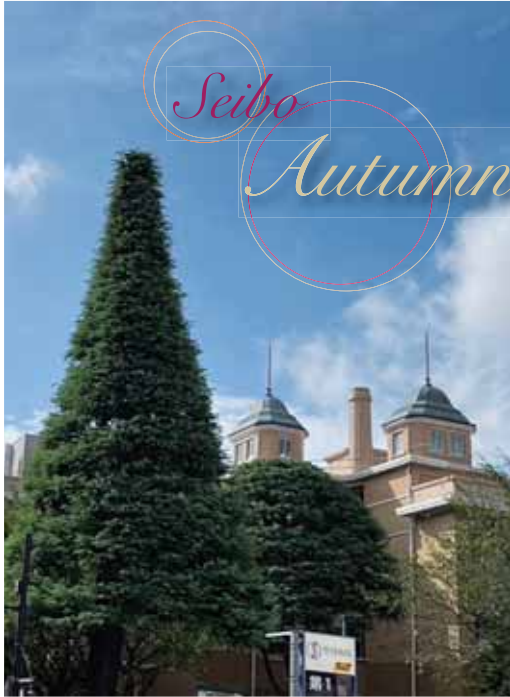




聖母ニュース



編集・発行
社会福祉法人聖母会聖母病院
〒161-8521
東京都新宿区中落合2-5-1
TEL03-3951-1111
<https://www.seibokai.or.jp>



◆理 念◆

愛をもって病める人を癒されたキリストにならい、国籍、信仰、貧富を問わず、心の通う医療を提供して病める人々の身体的、精神的、社会的、霊的ニーズをみताす。

◆基本方針◆

1. 生命を尊重し、最善の医療をおこないます。
2. 地域医療機関および福祉施設等と連携し、安心できる医療をおこないます。
3. 病院の理念に基づいて質の高い医療人を育成します。

◆患者様の権利と責務◆

患者様には次の権利が保障されています。

1. 平等かつ適切な医療を受けられます。
2. 人権が尊重されます。
3. 病気、治療について十分な説明が受けられます。
4. 医療内容を選択または拒否できます。
5. 個人情報やプライバシーが守られます。
6. セカンドオピニオンを求めることができます。

患者様へのお願い(責務)。

1. 適切な医療を受けるために、健康(病状)に関する情報を正しくお知らせください。
2. 医療行為に関して納得したうえで意思を明らかにし、指示に従ってください。
3. お互いによりよい治療と療養生活を送るために、定められた規則を守ってください。

聖書のことば

「わたしは裸で母の胎を出た。裸で、そこに帰ろう。
主が与え、主がお取りになった。
主の名は祝されますように」 (ヨブ記1:21)

"Naked I came forth from my mother's womb,
and naked shall I go back again.
The Lord gave and the Lord has taken away;
Blessed be the name of the Lord!" (Job1:21)

健康寿命延伸のすすめ

放射線科 部長 戸邊 公子

健康寿命とは、「健康上の問題で日常生活が制限されることなく生活できる期間」のことをいいます。2019(令和元)年における我が国の平均寿命は男性81.41歳、女性87.45歳ですが、健康寿命は男性72.68歳、女性75.38歳にとどまり、それぞれ約9年、約12年の差があります。老後も健やかで心豊かに生活していくためには、平均寿命を上回る健康寿命の延伸を実現することが必要です。

健康寿命を延伸するためには、①栄養バランスの良い食事をとる、②適正体重を保つ、③喫煙を控える、④過度な飲酒を控える、⑤日常的に運動する、⑥質の良い睡眠を十分にとる、⑦社会関係を保つ、⑧脳のトレーニングを行う、⑨定期的に健康診断を受けること

が有用と言われています。

画像検査を利用した健康診断として、当院では「全身MRI検査」と、「低線量胸部CT検査」を推奨しています。「全身MRI検査」は、被ばくの心配もなく、30分ほどで頸部・胸部・腹部・骨盤を撮影し、がんリスクを調べることができます。また「全身MRI検査」の苦手とする早期肺がんの検出には、「低線量胸部CT検査」との併用受診をおすすめしております。

この様に上手に画像検査を利用することで、お身体への負担を最小限に抑えて、病気の早期発見が可能となります。定期的な検診に画像検査を取り入れて、健康寿命の延伸に努めていきましょう。

176号の内容

健康寿命延伸のすすめ	1	聖母病院創立物語 第12回	3
皮膚科通信 第2回	2	着任医師紹介	3
麻酔科通信 第2回	3	外来診察表	4

皮膚科通信



子どもロコモの増加と足育

皮膚科 部長 小林里実

子どものロコモティブシンドロームが増加しているようです。お子さんの学校から、次のようなチェック項目について回答を求められたご経験があると思います。

- ☐ ふらつかずに片脚立ちが5秒以上できるか
- ☐ しやがみ込みができるか(途中でとまらず、踵が上がらず、後ろへ転倒せず)
- ☐ 両腕の垂直拳上(耳の後ろまで)ができるか
- ☐ 体前屈で膝を伸ばしたまま指が床につくか

子どもの姿勢不良や運動不足または使いすぎなどにより運動機能不全をきたすと、ケガや将来の要介護となるリスクにつながります。イボ(ウイルス性疣贅)やタコや魚の目、足に慢性の皮膚炎がある、巻き爪(陥入爪)など、足の皮膚のトラブルも子どもの運動機能低下の誘因となります。軽視せず、早めに治療しましょう。

巻き爪や外反母趾は誤った靴選びで起こります。足は28個の異なる形の骨が組み合わさってできています。子

どもの骨は軟骨成分が多く、成長部分の骨端線(成長線)があり、軟骨が骨へと置き換わっていきます。また、体重を支え、衝撃を吸収し、バランスをとりながらうまく歩くためのアーチ構造も形成されます。足の骨格を作る大切な時期は、歩行時や運動時に骨や筋肉や靭帯など

をしっかり保持する靴が必要です。サイズの小さすぎる靴のみならず、サイズの大きすぎる靴も足のアーチ構造を崩して扁平足となり、足趾の動きを制限するほか、靴の中で足が不安定に動くため、つま先が靴のカーブに繰り返しぶつかり、外反母趾や陥入爪にもなるのです。靴のサイズというと長さ(足長)ばかり気にしがちですが、靴幅が足の幅(足囲)に合っているもの、足をベルトや靴紐でしっかり固定するデザインが靴選びのポイントです。

足の皮膚のケア、足の爪の正しい切り方(爪を真っ直ぐ切ってから両端をカットするスクエアオフ)、サイズの合った正しい靴選び、歩行時や座位の正しい姿勢や運動を指導する「足育」で、子どもの健康な足を守りましょう。



麻酔科通信



麻酔の日

麻酔科 松本 都

10月13日は麻酔の日です。1804年10月13日、華岡青洲が乳がん患者に対し「麻沸散(通仙散)」を用いて手術を行いました。「麻沸散」は元来、中国の三国志時代の伝説の医師・曹操の侍医であった華佗が用いた麻酔薬です。彼は華佗にならって、完成した薬に「麻沸散」と名付けましたが、華佗による処方内容は残されていませんでした。そこで青洲は10年の歳月をかけ麻沸散を開発しました。完成してもすぐには臨床使用せず、家族に被験者として協力してもらい、長時間かけて至適な処方・投与量を求めました。

麻沸散に含まれるマンダラゲには瞳孔を散大させる効果があり、閉塞隅角緑内障の方には使用禁止の成分です。麻酔効果が得られるほどの量を投与したとなれば相当危険であり、麻沸散の被験者となった青洲の妻が失明したのもこれが原因なのではないかと考えられます。

青洲に対する批判に、彼が秘密主義で麻沸散を門外不出としていたことがあります。それは批判されることでし



ようか? 麻沸散の危険性もそれを使用しての手術の危険性も理解しているからこそ、情報が伝播していく中で正しく伝えられず安全面がおろそかになることを恐れたのではと考えます。彼は自らが育てた弟子のみに麻沸散の秘法を伝えました。彼は学びたければいつでも入門を許し、千人以上の弟子がいたそうです。麻沸散を用いた全身麻酔は日本中に広がり、九州では明治30年頃まで麻沸散による全身麻酔が行われていました。

彼は開発薬に慎重であっただけではなく、手術患者の術前状態の改善、術後管理、はたまた医療排水も河川に垂れ流しではなく、彼の診療所には浄化槽が備えられていたそうです。海外では1846年アメリカのモートンによってエーテル麻酔の公開実験が行われ、成功裏に終わりました。それよりも



40年も早く全身麻酔下の手術に成功し、現代に通ずる手術管理を行っていた華岡青洲という人は真に尊敬される偉人であると思います。

東京修道院の創設

小児科 部長 猪野雅孝

1929年(昭和4年)5月28日にマリアの宣教師フランシスコ修道会(FMM)の東京修道院が創設されました。シャンボン大司教はシスターたちが東京に到着した日から修道生活を送れるように、関口教会の司教館から守衛の住んでいた家を移築し、修道院に仕立てました。カトリック婦人会の手を借りて、ベッド、テーブル、椅子などの家具を揃えました。1929年1月にM(メール)、コンソラトリス(ルクセンブルグ)とM.リオバ(オーストリア)の二人が日本に到着し、修道院創設の準備のため札幌に渡りました。管区長のM.クリゾストム(ベルギー)が修道院長を兼任することになり、5月25日にM.被昇天(林 京)(日本)と一緒に中国から東京へ到着しました。一旦熊本に戻っていたM.ベアタ(カナダ)も到着し、その後3日間を挨拶回りや買い物などの準備に当て、5月28日から東京修道院での生活が始まりました。粗末な建物を見たシスターたちは「フランシスコの娘に最もふさわしい質素な住まい」と喜んだと伝えられています。この日、M.コンソラトリスとM.リオバもアグレジェ(準会員)のアグネス(日本)と一緒に札幌から到着し、東京修道院の創設者が全員揃いました。1908年(明治41年)に創設された札幌修道院以来、約20年ぶりに日本に創設されたFMM修道院となりました。

東京修道院の生活はシャンボン大司教による初ミサで始まりました。この日以来、関口教会の司教館からミサをあげるために徒歩で東京修道院まで通うことがシャンボン大司教の日課となりました。片道約3.5km、約45分かかりました。これは、1931年(昭和6年)5月にフランシスコ会の修道院が東京にできるまで続きました。東京修道院の創設によって、病院と老人ホームの2つの事業が具体的に歩み始めました。

東京修道院の創設期からここに通っていたシスター田中 峰(1904-2006)は『聖母病院50周年誌(1982年刊)』に次のように寄稿しています。1929年か1930年のどちらかの話です。



東京修道院の聖堂



FMM東京修道院

「遠い昔のことで、なにもかも定かではありませんけど、空き地に2階建ての小屋が建っていました。そこには5人のシスターが住んでおられ、毎朝、シャンボン大司教様が御ミサをあげられに関口から徒歩でいらっしゃるということでした。9月のある日、私もふと、出かけてみました。それからというものの病みつきになり、毎朝出かけるようになりました。自宅から近いということもありました。早足で近道を行けば6、7分でした。御ミサに出かけるようになってからどれくらいの月日がたちましたか、いつの間にか冬を迎えていました。雪の日は大司教様の足跡を歩けば楽でした。廊下の端から上るので(玄関などなかったようです)、私が先に上る時など、大司教様は私の下駄をそろえてくださいました。」

シスター田中 峰は第二次世界大戦後に文部大臣(第1次吉田内閣)、最高裁判所長官などを歴任した田中耕太郎氏の夫人で、夫の死後にカルメル修道会のシスターになられた方です。当時はあけの星会(カトリック婦人会)の会員で、夫の耕太郎氏は東京帝国大学の法学部教授でした。

着任医師紹介

せこ あやね
瀬古 彩音 医師

- 出身地
三重県
- 卒業大学、卒業年
三重大学 2022年卒
- 専門
産婦人科
- 聖母病院の印象
職員の皆様があたたかくて、安心感があります。
- 今後の抱負
産婦人科医として成長し患者さんの役に立てるよう、精一杯頑張ります。
- 患者さんへ一言
患者さんへ寄り添えるよう頑張ります。

『聖母お元気倶楽部』
開催のご報告と次回のご案内

2024年度第2回聖母お元気倶楽部が8月22日開催されました。地域から27名の皆様に参加してくださいました。

今回のプログラム

- 当院理学療法士による講座
「ウォーキングについて」と介護予防運動
- 当院薬剤師による講座
「薬との上手な付き合い方」
- 交流会

交流会ではご自宅での薬の管理方法や飲み方について情報交換しました。

次回は、11月21日木曜日13:30~15:30より開催します。多くの皆様のご参加をお待ちしています。*** 聖母病院看護部



介護予防講座
聖母お元気倶楽部

《日時》 2024年11月21日木曜日
《場所》 聖母病院 5F講義室
《時間》 受付開始13:15
13:30~15:30(入退場自由)

～いきいきと笑顔で年を重ねましょう～

- 「脳トレと運動」
「自宅でできる介護予防運動」
講師：理学療法士 猪野雅孝 田中彩音
- 「自分でできる！食事のバランスチェック」
講師：管理栄養士 戸塚結香 小野由美子
- 交流会

※事前の申し込みは不要です。お席を確保してください。 聖母病院

外来診察表

◇お知らせ◇ 当院は原則予約制です。ご予約のない患者さまは、お待ちいただく時間が長くなる可能性あることをご承知ください。 (令和6年 10.1～)

			月	火	水	木	金	土 (第3週休診)
内 科	午前診療	①	濱松 永昌	宮本 大介	北濱真理子	宮本 大介	濱松 永昌	宮本 大介
		②	小野 真理	市瀬 裕一			小野 真理	市瀬 裕一
		③	宮田 由紀	渡邊 成美	桃井 瑞生	安藤 稔/第5.休		稲垣 裕介
		④	伊藤 直人	伊藤 直人	岡野 真弓	伊藤 直人	佐々木順子	
		⑤	庫川 恵理	宮田 由紀	庫川 恵理	井上ゆか子	岡野 真弓	庫川 恵理
		⑥	藤井 大輔	八尾 厚史		藤井 大輔		
	午後診療	①	宮本 大介	北濱真理子	鈴森知沙季	宮本 大介	砂金 瑛実	
		②	伊藤 直人	小野 真理	桃井 瑞生	安藤 稔/第5.休	第1.3.5 宮本大介	
③		藤井 大輔			宮田 由紀	交代制		
④		交代制				第2.4 藤井大輔		
総合診療科 (院内標榜)	午 前			南郷 栄秀				
	午 後				南郷 栄秀	田中 祥子		
内 視 鏡	午 前		鈴木辰典(内科)	松延修一郎(外科)	濱松永昌(内科)	濱松永昌(内科) 宮野省三(外科)	勝海 愛(内科)	井上幸紀(外科)
	午 後		交代制(東大)	交代制(JOHO東京 新宿メディカルセンター)	濱松永昌(内科)	濱松永昌(内科) 宮野省三(外科)	田中敏明(外科)	
外 科	午 前		井上 幸紀	井上 幸紀	松延修一郎	田中 敏明	井上 幸紀	田中 敏明
乳腺外科	午 前		加藤 昌弘	菊山みずほ(リンパ浮腫)	菊山みずほ	菊山みずほ		菊山みずほ
	午 後		加藤 昌弘	神野浩光/岩瀬 哲				
泌尿器科	午 後		勝井 政博			勝井 政博		
整形外科	午前	①	小川 政明	橋本 健史	小川 政明	小川 政明	三箇島吉統	交 代 制
		②	小林 亜里	小林 亜里	土岐 尋江	小林 亜里		
		③	土岐 尋江	増渕 茉侑		第1.3 村越 薫 第2.4.5 土岐尋江		
	午 後			宮本英明 14:00～15:30 (予約のみ)				
産婦人科	午前	初 診	兼子 絢華	坂井 健良(8:45～)	宮越 敬/山内 潤	増澤 利秀	小野あすか(9:30～)	宮越 敬
		再 診	山内 潤	山内 潤	増澤 利秀	山内 潤	宮越 敬(10:30～)	増澤 利秀
			山内 美和	宮越 敬	山内 美和	山内 美和	戸田 里実	戸田 里実(～12:30)
	午後診療				胎児診断外来/宮越 敬	産婦外来/片岡史夫		兼子 絢華
小 児 科		①	江崎奈緒子	岩丸 良子	江崎奈緒子	大塚 素子	江崎奈緒子	大塚 素子
		②	前田 由美	前田 由美	新貝千賀子	前田 由美	高橋 美希	前田 由美
		③	山中 聡子	隔月1回 石田 悠(神経)		第3除く 岩丸良子(神経) 第3 松井順子(神経)		第1.5 松井順子
			④		江崎奈緒子(予防接種)	前田由美(予防接種)	高橋美希(予防接種)	大塚素子(予防接種)
	乳幼児健診			大塚 素子	山中 聡子	猪野雅孝(BCG)	岩丸 良子	
	1か月健診		猪野 雅孝	大塚 素子	猪野 雅孝	前田 由美	岩丸 良子	
			前田 由美	岩丸 良子	山中 聡子	大塚 素子	高橋 美希	
	専門外来		新生児フォローアップ/猪野雅孝 心臓/島田衣里子第2月除く	アレルギー/前田由美 夜尿症/大塚素子 予約/岩丸良子	アレルギー/前田由美 新生児フォローアップ/猪野雅孝 新生児フォローアップ/山中聡子	神経(月1回)/衛藤 薫 予約/岩丸良子	アレルギー/江崎奈緒子 予約/大塚素子 予防接種/岩丸良子 予防接種/高橋美希	
精 神 科			永富めぐみ	永富めぐみ	非 常 勤	永富めぐみ	永富めぐみ	永富めぐみ
耳 鼻 咽喉科	午 前		中川 秀樹	中川 秀樹	横井 秀格	齋藤康一郎	中川 秀樹	中川 秀樹
	専門外来		大石 直樹		第2 斉藤秀行		交代制(慶應大・杏林大)	
眼 科	午 前		太根 ゆさ	戸ヶ崎英理奈	戸ヶ崎英理奈	戸ヶ崎英理奈	海田 千恵	第2.4 戸ヶ崎英理奈
	専門外来		不定期 戸ヶ崎英理奈		河井 明佳	落合 淳一	非 常 勤	非 常 勤
皮 膚 科	午前	1 診	松田 薫	松田 薫	小林 里実	平山愛里彩/松田 薫/交代制	第2.4 小林里実	松田 薫
		2 診	平山愛里彩	平山愛里彩	矢作 美奈	西山有希子	第1.3.5 平山愛里彩	平山愛里彩
		予約外来	川上 理子	小林 里実	川上 理子	特殊治療/小林里実	西山有希子	第1.2 天野菜々美
	午後	専門外来	小児皮膚科・小児レーザー/ 川上理子	乾癬・掌跖膿疱症・小児し ーザー/小林里実	小児皮膚科・小児レーザー/ 川上理子		乾癬・掌跖膿疱症/ 第2.4 小林里実	
掌跖膿疱症性骨関節炎/ 石原陽子			ピーリング/ 平山愛里彩 松田 薫	乾癬・掌跖膿疱症/ 小林里実		光線・学童/平山愛里彩		
		光線・学童/松田 薫		光線・学童/矢作美奈	手術/ 小林里実 平山愛里彩 松田 薫			

*休診日：日曜、祝祭日、第3土曜日、クリスマス（12月25日）、年末年始（12月30日～1月3日）

予約センターについて

代表電話からはお繋ぎする事ができません。

全科診療予約については、予約センターにて受付致します。下記時間内に直通電話にてご連絡をお願い致します。

予約受付時間	平 日	9:00～16:00
	土曜日	9:00～12:30(第3土曜日除く)
予約センター電話番号		03-6908-1717

※産婦人科・乳腺外科以外の科は、当日予約は受け付けておりません。
※検査の予約変更・キャンセルについて、医療上のご質問がある場合は各科外来へご連絡ください。
※診療状況によりご希望の日程で予約が取れない場合がありますが、予めご了承ください。

編集後記

記録的な猛暑ようやく終わりを告げ、過ごしやすい気候となりました。空は高く澄み渡り、爽やかな秋晴れ、真っ赤な夕焼けに季節の移ろいを感じます。秋の行楽シーズンとなり、紅葉狩りや味覚狩り、星空観察といった、美しい自然に囲まれ、見て、触れるのも癒しになりますね。
四季折々の季節感が損なわれつつある昨今、季節ごとの風物詩くらはい堪能したいものです。(T.O)